

市長タウンミーティングを開催しました

第6回となります今回は「産業振興」をテーマに市長が様々な世代の皆様のご意見やご提案を伺いました。

開催日時 令和6年4月20日(土)午前10時～11時30分

開催場所 所沢市役所大会議室

参加者 62名



市長コメント

市長に就任して6回目、令和6年度1回目となりますタウンミーティングを「産業振興」をテーマに開催いたしました。

たくさんの市民の皆さまにご参加いただきまして、改めまして感謝申し上げます。

1時間30分という限られた時間ではありましたが、「所沢市の観光」、「情報発信・ところんの活用」、「産業振興ビジョンの具現化」、「SNSの活用」、「グリーン電力の活用」など、様々なご意見・ご提案をいただきました。

いただきましたご意見・ご提案を今後の市政に活かして参りたいと考えております。有難うございました。

参加者の声

- 1 産業振興ということで、農業の問題について提案申し上げます。

農業経営の安定ということなんですが、今農家がどんどん減ってきている。理由としては、やはり農業の経営が安定してない。農産物の価格が不安定で、安いということです。

実際には後継者が減少していて、耕作放棄地がどんどん増加し、年間に4ヘクタールぐらい放棄地になっていると聞いてます。

それをストップさせる方法としては、農林水産省が推奨している営農型太陽光発電、ソーラーシェアリングとも言います。

これは全国でも拡大していまして、他県でも普及しております。所沢市も実例はあります。これを市民との協働で取り組みことを提案します。

- 2 観光振興について、話しますが、所沢市は豊かな自然がたくさんあるのですが、ほとんど活用できてないのではないかと思います。

観光振興については弱く、意欲が感じられない。産業振興ビジョンの後期計画を見ましたが、観光に関しては具体性がないです。近隣の川越市や飯能市の観光産業政策を見ると、非常に細かく綿密になっています。

今後観光振興を市長タウンミーティングでテーマとして取り上げてほしい。

- 3 深谷市のホームページの真ん中に、「ふっかちゃん」というキャラクターがいるんですけども、「ふっかちゃん」をクリックすると、深谷市がどんな町というのがわかりやすく説明がされています。

ところが、所沢市は市のホームページを見ても、「トコロん」がないんです。「トコロん」はどこが管轄しているかというと、商業観光課が管轄していますね。「トコロん」は皆さんにとっては、当たり前キャラクターかもしれないですが、実はホームページでは公開されてない。市のあちらこちらで見かけるんですけども、市外の人にはわからないんです。

だから、所沢市の魅力が発揮されないのは、「トコロん」を使ってちゃんとアピールしてないからと私は思う。

- 4 世界ではあのGX、グリーントランスフォーメーションの時代というふうに言われています。熊本のTSMCが熊本に立地したのは、九州にあり余るほどクリーン電力がある。今北海道にラピタスという会社が誘致されましたけど、北海道にはグリーン電力が余っている。今「アップル」、「グーグル」は全てグリーン電力で運営してくださいというのがミッションになっています。

ご提案としては、所沢には17万世帯あり、例えば10万円ずつ、市民ファンドを出していただくと、170億円の基金が集められます。そうすると、5社ぐらい大きな会社のグリーン電力が創出できます。

市民と一緒に、グリーン電力作りましょう。そしてグリーンを標榜する会社を誘致しましょうというやり方があると思いますので、ご検討いただけたらと思います

- 5 産業を起こすといったら、10年、20年かかって、そういった中で、市としてどれだけ腰を据えてやる気があるのか。担当者は5年くらいで変わってしまうので、産業は起きないだろうとちょっと思ったことがあります。

また、意外と林業が所沢は向いているのではないかと思う。こんな平らな土地が、緑がたくさん見られるが、これは非常に

林業にとっては有利なのではないかと思う。

観光については、何が困るって、トイレがないんですよ。歩いて観光したい、健康のため、トイレをぜひ整備してほしい。

- 6 産業振興とは少し内容がずれると思うんですけど、いわゆる孤独死ですね。

朝日新聞の記事なのですが、場所は忘れましたが、80歳の方が1人で暮らしをしていて、ボランティアで木を切っていたら落ちて、1週間後に亡くなったそうです。そうしたら家族がいない、銀行に1,200万円の預金があった。でもそれはもう亡くなってしまったので、手がつけれない。

そういうことを亡くなる前に、亡くなった後をどうするのかということをお願いする生前契約というものがあるのですが、そういったものを考えていただけないかなと思いました。

- 7 今後大学との連携を言っておられましたが、高校生も選挙権がありますので、高校生とも連携してもいいんじゃないかと思いました。

それと障害者雇用がうまくいってない状態があると思います、現実には難しい問題があると思うんですけど、就職率がとても低いです。

市歌ですかね、市の歌を作ってPR作業に使ったりする。

それから、農業でのロボット、そういったものもお金がかかるとはと思いますが、私は案だけなので、市長が実行するにあたって、いろんな問題があると思いますが、ご提案したいと思います。

- 8 所沢市の産業振興ビジョンのことについてです。私は前期と後期の2冊を読みました。言いたいことは、総論は良いのですが、各論があまりないのです。

計画は良いのですが、これをいつまでにこうやるという実行計画というようなものを作成してほしい。

所沢市には65歳以上の高齢者が人口の約3割いますので、10万人近い方がいらっしゃいます。こういう人達を、できれば地元の企業で、就労時間は短くてもいいと思いますけども、現役時代に培ったですね、いろいろなものがあると思います。こういう人達をいかに活かしていくかが産業振興の一環になると思いますし、社会の空気もずいぶん変わると思います。

9 情報発信について、お願いがあります。

X(ツイッター)やYouTubeなどを稼働して、所沢市のトピックスを発信してほしい。

今日ここに来るにあたって、市長は最近どんなことをやっているのかなと思って、グーグルで市長の名前で検索すると、まだ当選したニュースのことが上位に上がってきてるんですね。

あんまり情報が出ていないなと思ひまして、所沢市のラインも登録してますし、市長のアカウントフォローしてますし、ちょっとここが知りたいと検索したらすぐ出てくるとか、何かここに聞けば何かわかるという窓口のようなものが何かあったりとか、何かそういうものがあると非常にこちらにも興味を持つことができます。

10 4月27日に所沢の新茶祭がありますけど、時間はですね、10時から13時で、3時間で終わってしまうのは、ちょっと私は不思議ではない。

私は1990年に所沢市に転入した時、驚きました。私は九州の出身なのですが、まず田んぼがない、でもお茶畑がいっぱいある。ただ昨今ですね、その住宅化が進みまして、だんだんとですね、お茶畑が少なくなってきたようですね。

産業振興ということで、新しいお茶の振興を考えていただけ

ればありがたいと思っております。

- 1 1 私は産業振興課のバックアップで起業した一人です。そして、里芋のピザを開発した者です。

私は川越市の農家の出身なのですが、周りは所沢市、狭山市、三芳町との境があります。その際に困ったのが、どこの里芋を使って調理すればいいのかということです。やはり所沢のものを使うのが良いと思い、いろいろ探したのですが、大変苦労しました。

私はそのとき思ったのですが、産地の線引きをどうしたらよいかということです。所沢で作っているから、所沢のブランドなのかということです。そういった産地の線引きをもっと考えていただけたらありがたいと思っています。

それと、産業振興課にはたくさんのバックアップをしてもらいました。そして、起業することができました。これからもぜひ頑張っていたきたいと思えます。

- 1 2 産業振興に関する要望です。

さくらタウンですとか、所沢駅の再開発ですとか、諸々過去事例、あるいは将来計画もあると思いますが、気になっていることは、その費用対効果についてです。税金は使うけど、どうなっているのかっていうのが、やっぱり情報発信として見えてきません。

お金の関するそういう効果を指標としてちゃんと示してほしい。お金だけじゃなくて、利用者とか地域住民の主観的でもいいんですが、満足度も含めた、そういう効果をちゃんと情報を共有して開示していただきたい。

開示の仕方も、難しい言葉とか文字ではなくて、グラフ化して、わかりやすく発信共有をしていただけるように要望いたします。